



めむろ町民活動支援センター
「ひと」が見える・「まち」が見える

めむろコミ
MEMURO COMMUNICATION

2025年秋冬号  vol.7

特集

子どもと一緒に考えよう
話し合おう

◆リレーコラム
住尾 幸恵さん

◆まちなか取材 とびある記
先を見通して、勝負！
活動団体取材レポート



裏千家淡文会
芽室高校茶道部



芽室ゲートボール少年団



こどもと大人の対話ワークショップ



陸上競技大会

特集 その話し合い、大人だけで話してて良い？

子どもと一緒に考えよう 話し合おう

小学5年生から中学2年生までの子ども10名、大人18名が集まり、「公園」をテーマに「対話ワークショップ」が開催されました。(めむろ町民活動支援センター主催、2025/1/25 役場庁舎3階にて)
 当日の進行役や板書役を担ったのは、市民ファシリテーター育成講座楽しい会議のつくり方受講生(※)と、町内の活動団体。子どもから大人まで安心して話し合える場を目指しました。 ※ページ下へ

当日の流れ



1 当日の流れを具体的に伝える



2 カードゲームで緊張をほぐす



3 子ども2~3人と大人1人で対話の時間
「公園でどんなふうに過ごしている？思い出は？」



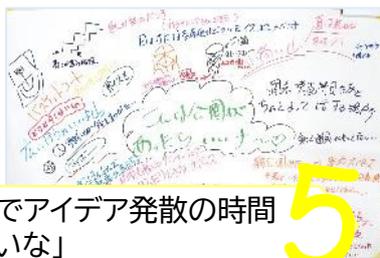
4 環境土木課より公園計画について説明

分かりやすい言葉で、子どもたちも頷きながら聞いていました。



対話とアイデア発散

当日は休憩入れて2時間半



5 子ども2~3人と大人2人でアイデア発散の時間
「こんな公園があったらいいな」

テーマについて自由に意見を出し合いました。一度グループのメンバーを入れ替えて、さらに話し合いを続けました。意見・アイデアはイラスト入りで記録し、共有しました。



※市民ファシリテーターとは、会議の進め方の視点を持ち、身近なまちの話し合いをサポートする人のこと。芽室町の事業として、めむろ町民活動支援センター主催で育成講座を隔年開催。

親しみやすく
人数が少なかったから
話しやすかった

大人が子どもの考えを
よく聴いてくれて
話しやすかった

当日の子どもたちの
反応は？ 感想は？

とりあえず考えながらも、
のんびり気ままに話せた



当日参加した大人からは…
今日は
子どもたちの話を
聴こう！と思って
参加しました

当日、参加した大人からは
こんな声が寄せられました。
「カードゲームを大人も子
どもも入り混じって行っ
たことで、楽しい雰囲気か
できました。その雰囲気
のまま、グループワーク
では話を振るまでもなく、
子どもたちの方からアイ
デアや意見が湧水のように
どんどん出てきました。
ワークシートに書き込
き込んで参加してくれて
いて、考えがまとまってい
たのもあったかと思いま
す」「一見「ぶっとんだ」
アイデアも、子どもたち
ならではの考えもあつて
このことで、その考えの
部分も聞けたことが楽し
かったです」



ほかに
「子どもたちが『伝えたい』
という思いで来てくれま
した。それだけですばら
しい。なにかひとつでも
叶えてあげたいです」
「自分も中学生の頃を
思い出して、友だちによ
うに話せました」
「子どもたちがしつかり
考えていて感心した」
「こういった感想もあり
ました。子どもたちの
「こんな公園であつたら
いいな」というアイデア
は遊具に留まらず、防
災やユニバーサルデザ
インといった視点もあ
り、発想の幅の広さにも
驚かされました。今
後も子どもたちの意
見を聴いていきたい
との思いを、大人
同士、共有しました。」



出てきたアイデア！

雨よけできる
場所・遊具

日本一の公園

バスケット3on3



芽室らしい遊具
たとえば
チーズ型遊具

小高い山



防災公園

大人も子どもも
安心して
楽しく使える



なぜ開催したの？

長らくまちづくりに関わっている住民から「どうしたら子どもに開ける町の事業に関して、子どもの意見を反映できるだろうか」との声がめむろ町民活動支援センター（以下センター）に届いていました。

また2023年には、こども家庭庁が設置、こども基本法が施行されました。その中で「子ども・若者のみなさんの声を聴き、反映し、子どもや若者の視点に立った政策を実現する」とことが明記。今後ますます、子どもの声を聞く機会が増えていくことが予想されました。

一方、芽室町では、公園再整備計画作成の時期を迎え、担当の環境土木課では住民の意見を聞く準備を進め、子ども対象のアンケートも実施していました。

そこで、この機会に子どもの意見を対面で聴く方法を住民や受講生と考え実践できないかと考えました。

担当課に相談し、公園計画の説明などで協力いただきました。終了後、課の職員は子どもたちの意見がたくさん聴けました。課で開催する意見聴き取りの方法としても参考にしたいです」と話していました。

誰と開催したの？



自己紹介で余計な緊張が生まれることもあるよね…

会議室っぽい雰囲気は嫌だなあと子どもが言っていたよ

事前に話し合うことがわかると話しやすい

子どもと

活動している

方たちの協力を得て開催

協力団体

- ・認定NPO法人子どもと文化のひろば ぷれいおん・とかち
- ・育児ネットめむろ
- ・芽室花火大会実行委員会
- ・ほっとる一む（当時表記ホットルーム）
- ・ひばりワクワク広場実行委員会

準備のポイント

- 会場・テーブル・椅子の配置は話しやすい？
- 飲み物やおやつはあった方が良い？
- 何を掲示しておく？ デザインは？
- 緊張をほぐす「導入」はどうする？
- 話し合いを円滑に進めるための約束事（グラドルール）は？

町内で子どもたちと活動している5つの団体の協力を得ました。事前打ち合わせでは各活動の経験に基づいた意見が上がり、当日話し合う内容や方法、準備するものを決めていきました。

芽室花火大会実行委員会では、子ども実行委員と話し合い、企画を進めています。「会議参加前に話し合うことを伝え、アイデアを膨らませてもらった」という経験談から、イラスト付きのワークシート(右図)を作りました。提出の必要はなく、考えをまとめるために使ってもらいました。

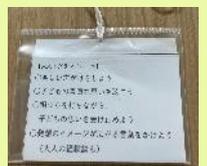
打ち合わせで特に時間をかけたのは、子どもたちと話し合う目的・ゴールを定めて共有すること、グラドルール(話し合いを円滑に進めるための約束事)を決めることでした。

活動経験の中で、子どもが大人に対して本音を話さずらいところもあることを感じていたことから、安心して話せる場所を作ることを目的にしました。目的にあわせて「話し合いの約束事」は「今日はみんなで楽しもう」「思ったことを話してみよう」「話に耳を傾けよう」としました。



大人の話し合いの約束事も作り、名札の裏側に記載しました。

- ◆明るい声がけをしよう
- ◆子どもの素直な思いを聴こう
- ◆相づちを打ちながら、子どもの思いを受けとめよう
- ◆発想が広がるような言葉をかけよう (大人の経験談も)



リレーコラム

芽室にお住まいの〇〇さんから見える、芽室の“今”をご紹介します。
今回は・・・

茶道裏千家淡交会 帯広支部

すみお ゆきえ
住尾 幸恵さん

芽室高校の生徒とともに

〇〇

茶道部は1年生から3年生まで8名が在籍し、月曜日と水曜日にお稽古をしています。



浴衣姿での3年生卒業茶会にて。(前列左が住尾さん)浴衣を着ることは嬉しい♪



季節のお菓子とともに・・・



ご縁があつて、令和元年から外部講師として伺っています。

入部したての頃は、道具の名前や手順、動作の意味を覚えることが大変な様子。また正座する機会が今は少なくなり、足のしびれにも苦勞しています。

1年たつ頃には盆略点前(お盆の上に最小限の道具を載せて行う簡略化した作法)が出来る様になり、お抹茶は上手にクリーミーな細かい泡に点てられる様になります。

2・3年生になると先輩として、下級生の面倒をみて教えたり、部活の良さを伝えてくれます。

又、年2回ある全国高等学校文化連盟の茶会などではチームワークが問われます。最初からはうまくいかなくても、美味しいお茶を

差し上げたい思いをもって望んでいます。1年、1年成長していることを感じさせられ、その姿を見るのは楽しくなります。

お茶ではお菓子も大切です。お茶会では芽室のまさおかさんにオーダーして、その時期にあつたお菓子を作っていたことが出来、恵まれています。いつもおいしくいただいています。

これからは、海外に出て行く機会が増えます。日本人としてのアイデンティティが問われる時、茶道を習ったことが役に立ってくれるとうれしいです。



「先生、写真撮ろ！」
卒業生はひとり。
とっても下級生思いの先輩、
とっても笑顔がステキです。



茶室の裏側。
先輩をもてなそうと
後輩たちが準備!

もっと知りたい!まちなかのひととき

子どもも大人も、先を見通して勝負!

暮らしの中にある地域のひととの繋がりを、写真をとってお知らせします。
今回は大人も子どもも入り混じり「対戦」している場所へ。
子どもたちの声を聴いてきました。

ゲートボール

芽室ゲートボール少年団では、小学生から高校生が所属。子どもたち自ら作戦を考えますが全国的に珍しく、力をつけた高校生は全国高等学校ゲートボール選手権大会で優勝もしています。



近いところから
順番に当てて
いこう

ちょっと引いて...
そう、そこ!



普段の練習では、高校生の作戦指示で対戦。仲間を助けたり、相手チームを邪魔したり。チームプレーで戦います。



仲間の球が
当てやすいように、
このあたりに来て!



ゲートを通して
1点追加しよう!

6月の全町大会ではさまざまな世代の大人チームと対戦。中学生チームも3年生が指示役に。

問合せ先 ☎62-9730
(町・生涯学習課スポーツ振興係)

将棋

芽室では、初心者向け「将棋センター」と、中級・上級者が通う「桂馬会」、シニア世代の方が集う「紀将会」の3つの会が連携して活動しています。



3手先を
考えながら
指している
かなあ

本を読んだり、
動画を見たり。
アプリで練習
したりしています!
でも...対面が一番
練習になる!

囲い(守りの陣形)の種類を
覚えて、手筋(駒の効果的な
動かし方)を一通りしたら、
定跡やって棋譜並べて。
やればやるほど上達して...
ほかにはない面白さです!



困らせるのが
将棋だよ!

毎年2月には桂馬会主催の
全町大会があります。
力試しの参加目指して、
始めてみませんか?
全町大会・桂馬会 問合せ先:
☎62-1818(佐藤さん)
将棋センター・紀将会 問合せ先:
☎080-1877-1288(岩佐さん)



活動団体取材レポート

芽室町そば研究会

代表・小林 隆二さん ☎090-2076-0789
 第3日曜9:00-13:00 南地区コミュニティセンター
 9/14(日):手打ちうどん 10/12(日)そば打ち



2025/5/1

たらんぼ、ギョウジャニンニク、ヨモギ、ミツバ、ヨブスマソウ、イラクサ、シャク…山菜がずらりと並んだ調理台。朝8時に集合してメンバーが採ってきました。毎年5月は山菜の天がらと手打ちそばを楽しみます。下処理する人、衣をつける人、揚げる人。打ち立てのそばを大鍋で茹でて、水洗いし盛り付けをする人。あうんの呼吸、連携プレーで作業が進んでいき、準備が整ったところで「いただきます」。旬の味、手作りの味に「おいしいね！」と舌鼓を打ちました。

ラブ・フェミニン

代表・森 栄子さん
 月2回水曜10:00-11:00 中央公民館
 問合せ先:めむろ町民活動支援センター☎62-0413



2025/7/16

フラダンスで慰問活動をしてきた方を中心に、初心者や数年ぶりに再開した方々が集まり、練習しています。ダンスの動作にはメッセージが込められていて、鏡を見ながら動きを確認します。覚える大変さがありますが、楽しく明るい雰囲気。魅力を尋ねると「年齢を問わずできます」「姿勢を正したゆったりとした動作で筋肉がつき、ひざの痛みが引きました」「ハワイの音楽に癒されます」との声が。音楽ごとに物語や情景があり、気持ちを載せて踊っています。

『Be yourself』実行委員会

多様性と子どもの未来をテーマにイベント開催。家で過ごす選択をした子の居場所『ほっとるーむ』、『ゆうゆう』を利用しての保護者を含む実行委員が手作りで準備。



2025/5/24 ジモト大学の子どもも活躍、放課後等デイシィグラスも出展

福祉、海外文化、環境など、ジャンルを超えた体験・グルメ・ステージもあるイベントでした。事前に出展者交流会も開き、「異分野でも思いが繋がり、当日は境目を感じない雰囲気ができた」と実行委員。また「子どもたちの楽しそうな笑顔を見て、互いの違いの前に、ありのまま笑うことの大切さに立ち戻れた」と充実感を込めて語ってくれました。イベント名「じぶんのままで」をまさに体現した空間でした。

情報発信中



BEYOURSELF_EVENT

芽室陸上競技協会

代表・岩田 辰美さん
 1月に総合体育館で室内大会、6月に帯広の森陸上競技場で大会を開催。指導者や現役選手も在籍中。



2025/6/15

35回目を迎えた大会に約100名が参加しました。過去に出場した子どもが親となり、その子どもが出場するなど次の世代へ繋がっています。大会初期は芽室中学校のグラウンドが会場でしたが、「本格的なコースで走れたら良い体験になる」と会員が競技場に掛け合い今に至ります。大会当日は協会役員を中心に、先生や陸上少年団の保護者、参加する子どもたちも準備・運営に関わります。選手に近いところで応援でき、アットホームな雰囲気で満ちていました。

センターだより

青空のもと「モルック体験会」を開催、28名の方に参加いただきました。センターへ「モルックが気になる、体験してみたい」という声が寄せられ実現しました。「めむろニュースポーツ協会の方をお招きし、ルールを解説いただき、試合を体験しました。



投げて当てて加点して・・・
50点ぴったりになったチームが
勝利する対戦ゲームです。



センターでは
モルックの貸出を
しています。

町内会で取り入れたい
という方も参加。
盛り上がりそうです！

【発行：めむろ町民活動支援センター】

様々な分野の住民活動を支援する施設です。「豊かに暮らしたい」「町・地域社会をもっと良くしたい」と願う芽室町民の自発的な活動を応援しています。

- 町民の自主的な活動や、まちづくりに関する情報を知ることができます。
- 活動を始めたいとき、仲間がほしいとき、お気軽にご相談ください。
- コピー機・印刷機・会議室などの設備を利用できます。
※設備利用の際は登録ください。
※町内会・子ども会・老人会は登録不要で利用いただけます。

◆住所 〒082-0013 北海道河西郡芽室町東3条3丁目1番地
芽室町中央公民館1階

◆電話番号 0155-62-0413 ◆FAX番号 0155-62-0414

◆メールアドレス katsudou.center@cotton.ocn.ne.jp

◆開館時間 月～金(除祝日・お盆・年末年始) 9:30～17:00

◆めむろ町民活動支援センターは、特定非営利活動法人まちづくりプラットホームめむろが芽室町から委託され、運営しています。



2025/7/1～7/27パネル展開催
中央公民館1階展示ロビーにて



MEMURO_KATSUDOU



月1回程度
イベント情報発信



ホームページ

『めむコミ』は
公共施設など町内各地に
設置しています。
ホームページからも
ご覧いただけます。